

## 《参考 15》 NDL 東日本大震災アーカイブが取り扱うコンテンツの条件

### (1) 収集するコンテンツの形式（テキスト、画像、音声など、コンテンツの形式）

文書、写真、音声・動画等、コンテンツの種別や形式、媒体を問わず収集を行う。具体的には以下の表に示す形式のファイルを収集対象とする。

表 -1 東日本大震災アーカイブが収集対象とするファイル形式

項番	コンテンツの種別	ファイル形式	拡張子
1	画像	JPEG 形式	.jpg
2		JPEG2000 形式	.jpg
3		TIFF 形式	.tif、.tiff
4		BMP 形式	.bmp
5		GIF 形式	.gif
6		PNG 形式	.png
7	音声	AAC 形式	.Aac
8		RealAudio 形式	.ra
9		WindowsMediaAudio 形式	.wma
10		WAVE 形式	.wav、.Wave
11	動画	FlashVideo 形式	.flv
12		QuickTime 形式	.mov
13		AVI 形式	.avi
14		MPEG-1 形式	.Mpeg
15		MPEG-2 形式	.m2p
16		MPEG-4 形式	.mp4
17		WindowsMediaVideo 形式	.wmv
18		RealMedia 形式	.rm
19		WebM 形式	.webm
20		3GPP 形式	.3gp
21		DVD-Video (VOB) 形式	.Vob
22		Transport Stream(MPEG-2)形式	.m2t
23	文書	テキスト形式	.txt
24		PDF 形式	.pdf

項番	コンテンツの種別	ファイル形式	拡張子
25		MS-Office	.docx、.xlsx、.pptx 等

提供の際は、必要に応じて提供用ファイルに変換を行い提供する。具体的には以下のとおり。

- 画像：一律 JPEG 形式 (.jpg) に変換し、東日本大震災アーカイブのビューワから提供する。
- 音声・動画：一律 FlashVideo 形式 (.f4v) に変換し、東日本大震災アーカイブのビューワから提供する。iOS や Android 向けの動画配信を行うために HLS プロトコルでの配信を行うこととし、FlashMediaServer にて HLS プロトコルで動画配信を行うためには.f4v 形式で提供する必要があったため、このような対応を取った。
- 文書：オリジナルファイルのレイアウト崩れ等の恐れがあるため、提供用ファイルへの変換は実施しないこととした。閲覧の際は、利用者側の端末のアプリケーションによって読み込んで閲覧することとなるため、利用者側で各フォーマットに対応したアプリケーションが必要となる。

## (2) 収集するコンテンツについての条件（形態・容量）

収集対象とするコンテンツの形式は《参考 2》(1) 収集するコンテンツの形式のとおりであるが、形態・容量については以下の条件がある。

### <形態>

- 基本的にはコンテンツファイルそのものの形式で収集するが、コンテンツ提供元との調整状況によっては、コンテンツファイルを保存したハードディスクやメディア等を提供元から受領し、NDL 側でファイルを NDL 東日本大震災アーカイブへ登録する等、個別に対応する場合もある。

### <容量>

- 平成 25 年 3 月時点のシステムリソースを考慮し、1 日当たりのコンテンツの収集容量の上限を約 20GB としている。20GB を超えるような大容量コンテンツを収集する場合は、ハードディスクによるファイルの受け渡し等、個別対応を行う。